



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 6月号 (No. 6)

令和3年6月25日発行

夢が膨らんだ“読書朝会”

今月（6月1日）の全校朝会は、糸魚川小学校の朝日先生を迎えて、読書朝会を行いました。

「読書週間でもないのに、どうしてこの時期に…？」それは、本の題名を見れば一目瞭然。「なつのキリンピック」だからです。全校朝会の3日後には、糸魚川市でオリンピック・パラリンピックの聖火リレーが予定されていましたし、その翌日の6月5日は、オリンピック・イヤーにちなんだ“ひすいの聖火リレー”が行われる運動会があったからです。

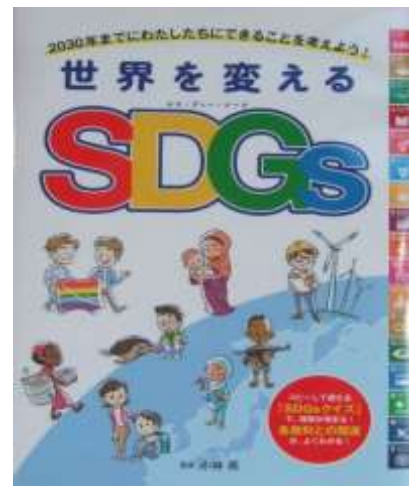
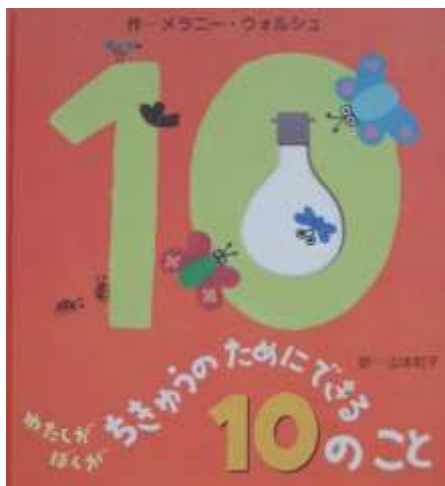


「なつのキリンピック。いよいよキリンのくにの、なつのキリンピックが始まります。キリンピックをみるために、ライオンもピューマもチンパンジーもぞうたちも、まわりのくにのどうぶつたちがやってきます。夏のキリンピックの目玉競技はマラソンで…。」

子どもたちは、大きなキリンと小さなキリンが競い合う様子に、ぐんぐんと絵本の中に引き込まれていきます。そうしているうちに、あっという間に約束の時間になってしまいました。

他にも「ちきゅうのためにできる10のこと」「世界を変えるSDGs」の環境に関する本も紹介していただきました。「自分の生活や身の回りの様子に関心を持ち、水や電気などを無駄にしないなどの地球に優しい取組をしていくことが大切なんだ」ということを知ることができました。

朝日先生には、図書室（糸小）での読書活動や調べ学習、秋の読書週間などで1年間を通してひすいの里総合学校の様々な活動に協力をいただいています。季節や時事に合ったタイムリーな本の情報は、子どもたちはもちろんのこと職員にとっても有益です。





令和3年度 ひすいの里総合学校グランドデザイン

【糸魚川市子ども一貫教育方針】

- 豊かな心の育成
自己肯定感を高め、道徳性と社会性をもつ子ども
- 健やかな体の育成
規則正しい生活リズムを身に付け、自分の健康を管理する子ども
- 確かな学力の育成
学び合いにより学習意欲を高め、確かな学力を身に付ける子ども
交流及び共同学習をとらして自立して学ぶ子ども

【児童生徒一人一人のニーズ】

- 確実な引継ぎと実態把握
- 個別の指導計画(自立活動)の目標
- 【保護者・地域の願い】
- 朗らかで優しい子ども
- 最後までやりぬく子ども
- ふるさと糸魚川が好きな子ども

当校のミッション：子どもたちの自立を支援し、生きる力を育てる

教育目標

- ① **ひとみ** かがやく子 (好奇心をもって学び喜びを感じる)
- ② **すてきな** えがおの子 (楽しみながら友達と仲良く活動する)
- ③ **いつも** げんきな子 (生活リズムを身に付け元気な体をつくる)



学部・重複障害学級の目標(身に付けたい力や態度)

【小学部】

- ① できることを増やし、進んで取り組もうとする力
- ② 身近な人と関わり合う力
- ③ 規則正しい生活習慣の確立と健康な体づくり

【重複障害学級(ひだまり教室)】

- ① 活動や学習を楽しもうとする気持ち
- ② 自分の気持ちを身近な人に伝える力
- ③ 活動や学習の基盤となる生活リズムの確立

【中学部】

- ① 様々なことに興味をもち、進んで学習に取り組む力
- ② 社会や地域に関わろうとする力
- ③ 継続して体力づくりに取り組む姿勢

【重点1】一人ひとりの自立に向けた生きる力の育成(R3年度最重点課題：3年次)

- 【方策】
- ① 学習指導要領に基づき指導と評価の一体化を図り、目指す資質・能力を確実に育成する。
 - ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、学力の向上を図る。
 - ③ キャリア教育の視点で、学部間、学校間の繋がりや就労を意識した学習を重視する。
 - ④ 各機関等と連携し、継続的・実践的な研修を通して教職員の専門性の向上を図る。

【重点2】主体的に社会参加する力の育成

- 【方策】
- ① 糸魚川小学校との交流及び共同学習、居住地校交流や各種行事等での交流を実施する。
 - ② 地域資源を活用したジオパーク学習や生活体験学習、職場体験学習等を実施する。

【重点3】開かれた学校づくり

- ① 教育活動の充実を図るために、外部講師や学校支援ボランティア等を活用する。
- ② 機会を捉えて地域へ積極的に情報発信及び地域支援を行う。
(オープンスクール、フリー参観、研修会の公開、学校便りの発行、HPの更新、特別支援教育のセンター的機能等)

【重点4】差別やいじめのない学校づくり

- 【方策】
- ① 差別を許さず、自他を大切にして行動できる児童生徒の育成を目指した人権教育、同和教育の充実を図る。
 - ② 思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるような道徳教育を実践する。

承認・評価

学校運営協議会・保護者